

アンケート結果について

I 訪問看護ステーションの方針

1.感染症に関する対応計画やマニュアルがあるか あり：17 なし：3
今回の感染拡大のため見直しをしたか した：10 しない8 未回答2

2.感染防護具の備蓄 あり：14 なし：6

マスク 手袋 手指消毒剤 防護ガウン ゴーグル N95 マスク
フェイスシールド ヘアーキャップ など

3.訪問休止や時間短縮の基準 あり：10 なし：10

- ・感冒症状がある場合は連絡をもらう
- ・37.5℃以上の熱発は原因が特定するまで休止
- ・訪問回数を減らす など

4.一時閉鎖になった場合の体制 あり：2 なし：16 未回答2

5.近隣ステーションとの連携体制 あり：0 なし：20

II 事務所内での対応

1.スタッフの感染予防

(不要不急の外出自粛 手洗い うがい 消毒 マスク 体温測定など)

2.職員勤務体制

(直行直帰 We b会議 出勤時間の調整 時短勤務 など)

3.事務所内環境

入室前に検温 手洗い うがい 消毒 清掃 換気
事務所に入らない 短時間滞在 食事は外、車内
物の使用者の固定化 など

III 利用者へのサービス提供

1.利用者、家族への説明

(事業所の方針を紙面にてお知らせする など)

2.提供時に注意する事

(マスク着用 ケア前後の手洗い 手指消毒 体温測定 など)

3.利用者家族に感染が疑われる場合の対応

- ・感冒症状がある場合は事前に連絡してもらう
- ・かかわるスタッフは最小限で
- ・防護具を1セットにし、スタッフが各自持ち歩く
- ・主治医に報告、指示をあおぐ
- ・電話で頻回な状態確認をする など

IV その他困りごとや課題など

- ・スタッフ間のコミュニケーション不足
- ・他ステーションとの協力や連携体制が欲しい
- ・感染者が出てしまった場合の不安
- ・スタッフ家族に感染者が出た場合の不安
- ・独居や認知症の夫婦のみの方への対応に不安 など

【まとめ】

このアンケートから、私たちが今までに経験したことのない感染症拡大の中、各事業所で様々な工夫をされている様子がありました。

また、緊急事態に於いては近隣のステーションとの連携体制が必要になる場合もあると考え、「顔の見える関係性作り」の必要性を感じました。